

機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市東昭和町150番地

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	外来・中央診療棟	SRC	7F・B1F	11,433.20	(6) 項 イ	
2	病棟	SRC	7F・B1F	11,382.06	(6) 項 イ	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空調調和設備								
○ 冷暖房設備		○						
● 換気設備								
● 排煙設備								
○ 自動制御設備		○						
● 衛生器具設備								
● 給水設備								
● 排水設備								
● 給湯設備								
● ガス設備								
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
○ 電気設備工事		○						
○ 建築工事		○						

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調調和設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
○ 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ○ パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
○ 熱源	○ 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鑄鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● テリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ○ ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ○ 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
● 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高圧水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ● 水道水 ● 井水
● 排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雨水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄化槽 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連絡送水管 ● 連絡放水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置
● ガス設備	● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火 ● 都市ガス (MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 - 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は ○ 印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ○ 印と ⊗ 印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち () 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
② 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。引渡しを要するもの
④ 発生材の分析及び処理	※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 廃石綿 (配管用保温材) ● PCB使用機器) アスベスト含有設備資機材 (ガasket、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物) は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊)
⑤ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
⑥ 機材の品質・性能証明	JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (3) の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。
⑦ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。
⑧ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
⑨ 電気容量及び機器表示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
⑩ 技能士の適用	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ○ 配管 (● 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ○ 冷凍空調調和機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)
⑪ 施工図等	
⑫ 完成写真等	

《技能士名札参考図》

技能士の職種により色を変えることも可
技能士の種別
技能士の級の別
技能士本人の住所地
名札の発行元

職種 配管
作業名 建築配管作業
級別 1級
氏名 ○山○夫
勤務先 ○○工務店
自宅 鳥取市
技能士番号 00-0-000-00-0000
発行 ○○○○○○○○印

主要事項 (職種、作業名、級別、氏名、住所地、技能士番号、発行元、本人写真) が記載してあればレイアウトは問わない。

提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限り使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	○ 要 ● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	○ 要 ● 不要

⑬ 完成図等

区分	名称	部数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	⊗ 完成図 ⊗ 完成図 (縮小版) ○ 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書	● 完成図 (縮小版) ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1部
※ 官公署の届出書類		1部

○ 原因ケース・製本図面の青表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

14 他工事との取合

他工事との取り合い	建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補強	● ● ●	※ ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ●	● ● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		● ● ●	● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ●	● ● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮移及び埋込部分の補強	仮 枠 補強	● ● ●	※ ● ●
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ●	● ● ●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み 補強	※ ● ●	● ● ●
● 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ●	● ● ●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット (蓋を含む)		※ ● ●	● ● ●
● 天井点検口		※ ● ●	● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設置	● ● ●	※ ● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ●	※ ● ● ●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ● ●	※ ● ● ●

⑭ 工事用水・電力・その他

⑭ 表示板

本工事に必要な工事用水力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



⑮ 足場

⑯ 工事用仮設物

19 土工事

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり振置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない

(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
● 山砂の類 ()
● 真砂土 ()

⑳ 保温工事

(イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積

● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 保温チューブ (厚さ ⊗) ●)
○ 排水管 (● ロックウール ○ グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ ⊗))
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール2.5mm厚) する。
○ 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)
● 屋外 (○ 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	米原	米原

縮尺 S=NS
設計年月日 2025.09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
図面名称 機械設備工事特記仕様書 (1)

図面番号 M-02 / 16

<p>一般共通事項</p> <p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート <ul style="list-style-type: none"> ● 標準図 (施工3) ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製 (球形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形 (ステンレス製) <p>※ ベローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スリーブ形 <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの (ただし、防食塗装部分を除く)</p> <p>(イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等施したもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(カ)カラー亜鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 () <p>呼び径60Sφ以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガス配管 ● 冷水配管 ● 冷却水配管 <p>非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜 取 率 (● 標準仕様書による ● %)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地中埋設標を明示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●) <p>ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 (● 一般飲料水適格検査 ●) ● その他水质等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●) <p>公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。 ● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 <p>(測定時期: 測定場所: 測定点:)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 <p>対象箇所 ()</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空調用機器 () ● 衛生器具 () ● 断熱材 () ● 配管材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管) ● その他 () <p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設計用標準水平震度</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上 階 階 屋上、塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 槽 類</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 間 階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 槽 類</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 槽 類</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防災機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類 (燃料小出槽を含む) ● () <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							設計用標準水平震度	● 特定の施設		● 一般の施設		● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	上 階 階 屋上、塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振設置機器	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	<p>1 設計用温度湿度条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">()</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> </tr> <tr> <td>夏 季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA</p> <p>※ SGP (白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 架構ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る) <p>※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>※ SGP (黒)</p> <p>※ STPG370-ScH40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>一般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>● 断熱材被覆鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ● <p>※ SGP (白) ● VP</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5K ● 10K <p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイワラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。</p> <p>(ア) 防塵ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ) ピストンダンパー ● 遠隔復帰式 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) (長さ1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法 <ul style="list-style-type: none"> ● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図 (施工49) を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口 (原則400×600) を取付ける。</p> <p>形式はピトー管式 (コック付) とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ポイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空調機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 手動 ● 自動 <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400 (※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS (※ 1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式 (側圧計) とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図 (施工32) (二重設タンク・タンク室無し) ● 標準図 (施工33) (タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷水水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm) 形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式 (遠隔操作) ※ 不要 ● 要 <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版 (一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 ● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 		外気条件		室内 (調整目標値)						一 般		()		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏 季	℃	%	℃	%	℃	%	冬 季	℃	%	℃	%	℃	%	<p>6 衛生器具設備</p> <p>1 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>5 温水洗浄便座</p> <p>6 器具と排水管接続</p> <p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型 ● 洗浄水量4リットル/回以下 ※ 個別感知方式 (● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式 <p>電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手動式 <p>洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式</p> <p>※ 標準図 (施工64) ● 標準図 (施工65)</p>	<p>7 給水設備</p> <p>1 量水器</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示) <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H1VP ● 架構ポリエチレン管 <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水道配用ポリエチレン管 (75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● 5K (受水槽以降の配管に使用) ● 10K (公営水道に直結する配管に使用) ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁 (給水込込部に使用) <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形 (二重蓋含む) とする。</p>	<p>8 排水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 溝水試験継手</p> <p>3 バイパスシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>9 給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>10 消火設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>3 保温</p> <p>4 屋内消火栓</p> <p>5 ガス系消火剤の種類</p> <p>6 ガス系消火の起動方式</p> <p>11 ガス設備</p> <p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメーター</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>12 浄化槽設備</p> <p>1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 産戻土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p> <p>(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中)</p> <p>● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に溝水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架構ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 5K ● 10K <p>(ア)一般配管 ● SGP (白) ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 10K ● 16K <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次にによる。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結送水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ● 施工する) <ul style="list-style-type: none"> ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号) ● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動替式 <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 <ul style="list-style-type: none"> ● 標準図 (施工73) の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 要領 (c) ● 標準図 (施工74) の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事) <ul style="list-style-type: none"> ● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ()) ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニット型 ● 現場施工型 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m³/d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要 (図示による) <p>※ 製造業者標準仕様 (ロック式) ● MHA型 (ボルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																													
	設計用標準水平震度	● 特定の施設		● 一般の施設																																																																																																																												
		● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器																																																																																																																											
	上 階 階 屋上、塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																										
		防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																																										
	水 槽 類	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																										
		防振設置機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																										
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																											
水 槽 類	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
	防振設置機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																																											
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
水 槽 類	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																																											
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
	外気条件		室内 (調整目標値)																																																																																																																													
			一 般		()																																																																																																																											
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																										
(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																											
夏 季	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																										
冬 季	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																										
<p>一級建築士事務所／建築設備設計事務所</p> <p>Mechanical&Electrical Engineers</p> <p>X.PLAN</p>	<p>一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号</p> <p>管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号</p> <p>建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号</p>	<p>承認</p> <p>田村</p>	<p>管理技術者</p> <p>角田</p>	<p>担当</p> <p>米原</p>	<p>作図</p> <p>米原</p>	<p>縮尺</p> <p>S=NS</p>	<p>工事名称</p> <p>厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)</p>	<p>図面番号</p> <p>M-03 / 16</p>																																																																																																																								
<p>設計年月日</p> <p>2025.09</p>	<p>図面名称</p> <p>機械設備工事特記仕様書 (2)</p>	<p>鳥取県 令和7年度 J2402277 鳥取県立厚生病院</p>																																																																																																																														



付近見取図

概略工事工程表 (案) 1 工区

※この工程は概略であり、監督員と十分に協議の上、実施施工工程表を作成し、承認を得てから施工を行う事。

工事内容	1			2			3			4			5			6			7		
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
準備・調査	準備期間・調査・書類作成									(主な工事期間)									検査		
機器製作				室内機・室外機																	
冷暖房設備工事							配管・室内機			撤去			室外機			試運転・調整					
自動制御工事							配管・配線			撤去			リモコン取付			試運転・調整					
電気設備工事							機器電源取外し取付・既設ケーブル撤去・配管・配線・開閉器盤取付結線・受変電幹線接続						各種試験・送電								
建築工事							天井点検口地			※都度の養生清掃等											

工事概要

- ・ 外来・中央診療棟にあるマルチ型空冷パッケージエアコンの更新及び一部系統の個別化改修を行う。
- 個別化改修：B1F 厨房休憩室・カルテ庫、1F 救急処置室
- 更新：2F 検体検査室系統

【共通事項】

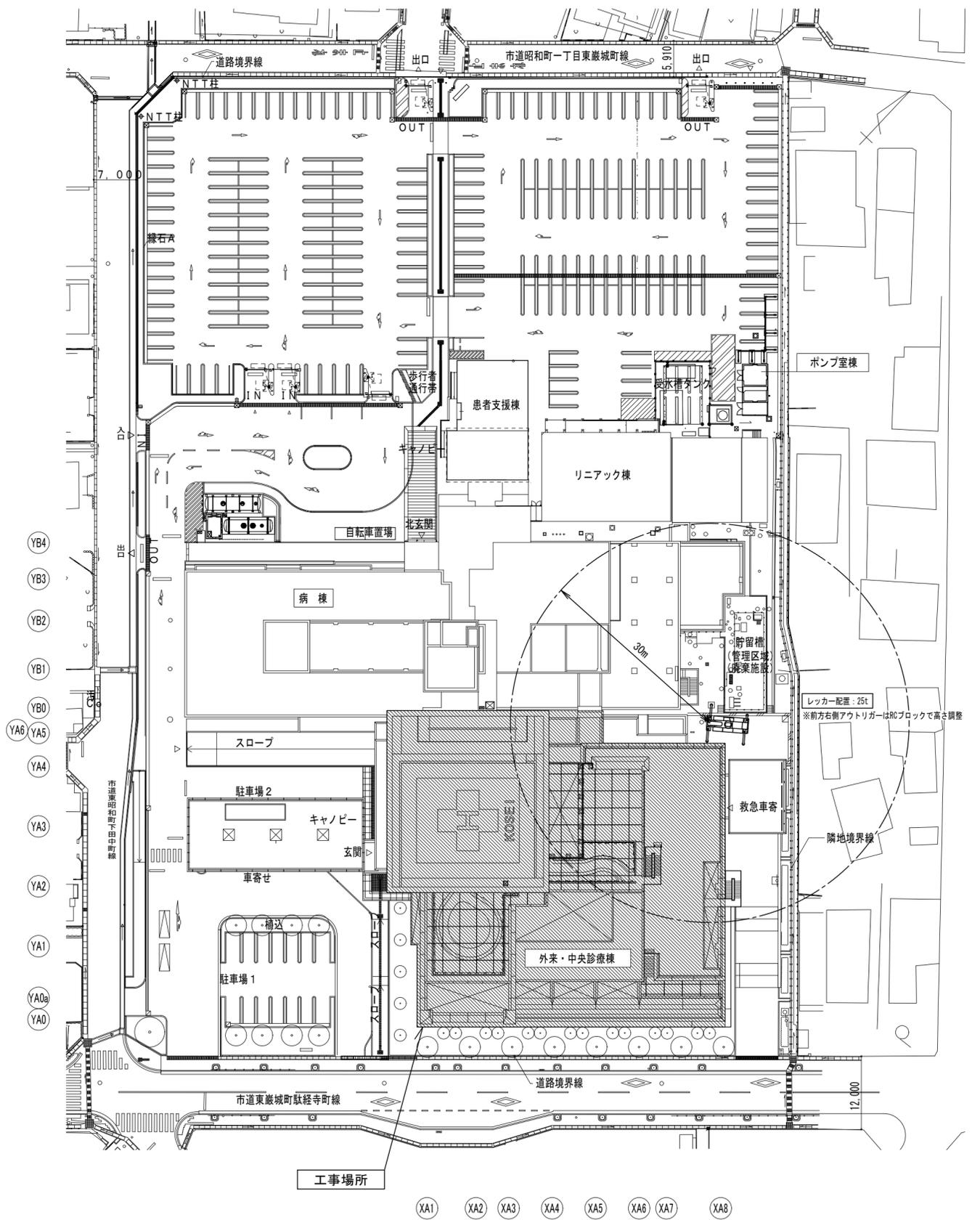
- ・ エアコンの室外機・室内機の取替 (以下「機器取替」という。)
- ・ 集中リモコンは既設再利用。(既設配線再利用共)
- ・ 更新又は改修に伴う電気ブレーカーの取替 (既存と仕様が同等のものを除く)
- ・ 更新又は改修に伴う建築工事一式 (天井部分改修等)

【更新】マルチエアコン→マルチエアコン

- ・ 機器取替に伴う配管、配線、ダクトの、機器からの取り外し及び再接続
- ・ 既設冷媒管再利用とする。一部の冷媒管改修を行う。

【個別化改修】マルチエアコン→個別パッケージエアコン

- ・ 機器取替に伴う冷媒配管、配線の設置。室内機ドレン配管は既設再利用、集中リモコンは一部再利用。



全体配置図 S=1/600



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	米原	米原

縮尺 1/600 (A2)
 設計年月日 2025.09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1 工区)
 図面名称 全体配置図・付近見取図・概略工程表

図面番号 M-04 / 16

冷暖房機器表 (改修後) 外来・中央診療棟

記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考・設置場所
PAC B1-2a	パッケージエアコン (個別化改修)	4方向カセット吹出形 P63型 冷房能力:5.6kW 暖房能力:6.3kW	3φ×200V	2	地階災害用倉庫 集中管理
		ドレンアップ、壁掛架台、転倒防止金具2ヶ1組、その他標準付属品共	COMP:1.3kW FAN:(内)0.050kW (外)0.040kW		
PAC B1-2b	パッケージエアコン (個別化改修)	天吊形(同時ツイン) P112型 冷房能力:10.0kW 暖房能力:11.2kW	3φ×200V	1	地階カルテ庫 集中管理
		ドレンアップ、壁掛架台、転倒防止金具2ヶ1組、その他標準付属品共	COMP:2.1kW FAN:(内)0.090kW×2 (外)0.200kW		
PAC 1-1a	パッケージエアコン (個別化改修) ※既設能力から変更	2方向カセット吹出形 P80型 冷房能力:7.1kW 暖房能力:8.0kW	3φ×200V	1	1階救急処置室 集中管理
		ドレンアップ、壁掛架台、転倒防止金具2ヶ1組、その他標準付属品共	COMP:1.6kW FAN:(内)0.050kW (外)0.060kW		
PAC 1-1b	パッケージエアコン (個別化改修) ※既設能力から変更	2方向カセット吹出形 P80型 冷房能力:7.1kW 暖房能力:8.0kW	3φ×200V	1	1階救急処置室 集中管理
		ドレンアップ、壁掛架台、転倒防止金具2ヶ1組、その他標準付属品共	COMP:1.6kW FAN:(内)0.050kW (外)0.060kW		
AEM 2-1	マルチパッケージエアコン (R410A専用) (室外機)	耐塩害仕様 冷暖切替型P335型 冷房能力:33.5kW 暖房能力:37.5kW	3φ×200V	1	2階室外機置場 集中管理
		SUS製防雪フード(吹出・吸込共)、防振ゴムパット、(再利用)鋼製製作平架台 冷媒種別 (R410A)	COMP:8.89kW FAN:0.46kW		
AEM 2-1a	マルチパッケージエアコン (室内機) ※既設能力から変更	4方向カセット吹出形 P56型 冷房能力:5.6kW 暖房能力:6.3kW	1φ×200V	4	2階検体検査室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN:0.050kW		
AEM 2-1b	マルチパッケージエアコン (室内機)	2方向カセット吹出形 P28型 冷房能力:2.8kW 暖房能力:3.2kW	1φ×200V	1	3階検査室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN:0.050kW		
AEM 2-1c	マルチパッケージエアコン (室内機)	4方向カセット吹出形 P71型 冷房能力:7.1W 暖房能力:8.0kW	1φ×200V	1	2階細菌検査室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN:0.050kW		
	手元リモコン	ワイヤードタイプ		9	
	集中リモコン (既設再利用)	50グループ/50台 運転/停止・運転モード切替 PAC-SF44SR-W, PAC-SC50KU (三菱電機)		(4)	1階 防災センター (外来・中央診療棟)

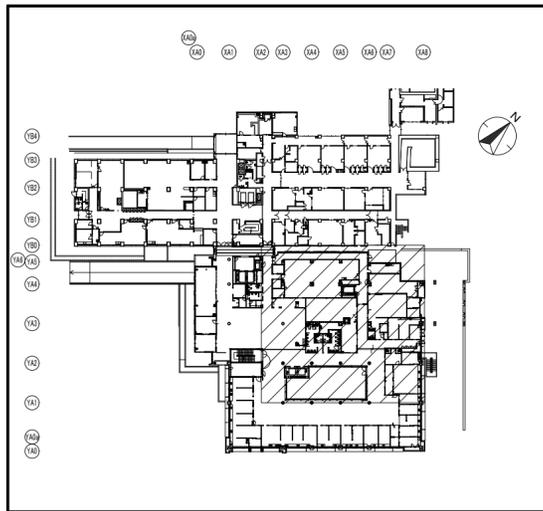
凡例

記号	名称	仕様
-X××××-	既設配管 残置	既設配線表記も同様
	既設配管接続	既設配線表記も同様
┌	既設配管端末塞ぎ	既設配線表記も同様
⊠	天井点検口	450×450アルミ額縁共(下地補強共)
⊞	天井点検口	既設天井点検口
⊙	穴開け補修	配管貫通用はつり箇所
◆	防火区画貫通処理	
	ジョイントボックス	屋外露出(SUS, WP:100×100×100)

注 記

- 図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
- マルチエアコンの定格能力は、JIS B 8616もしくはJRA 40021に規定された定格条件による。
パッケージエアコンの定格能力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。
- マルチエアコン室外機は原則、既設冷媒管再利用できるタイプとし、冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、室外機冷媒分岐継手等は付属とする。
- 機器一次側電源の再接続は電気設備工事とする。
- エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数Ki=1.8以下の機種を選定すること。
なお、Ki値が1.8を超える機器は、高調波抑制対策を講じて換算係数を1.8以下にすること。
- 必要に応じて冷媒充填をすること。
- 既設室外機基礎は全て再利用とする。既設鋼製架台は原則として、再利用するものとし、この場合は配置調整は既設鋼製架台上で新設溶融垂鉛メッキ仕上げ鋼材で行うこと。
(既設鋼製架台穴あけ及び錆止め塗装共)
- 既設RC基礎の既設アンカーは採用メーカーのアンカー耐震計算書の強度以上であることを全箇所引張試験を実施して確認の上、再利用すること。
- 室外機固定ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定すること。
- 図示した改修範囲を除く既設設備(配管、二次側電気設備等)の再利用が可能であることを採用メーカーに確認すること。
なお、製造者基準により追加改修工事等が必要となる場合は、受注者負担により実施すること。
- 室外機用新設架台は溶融垂鉛メッキ仕上げとする。
- 防振ゴムパットは、室外機の幅、全面を受けること。
- 個別パッケージエアコンは全て集中リモコンに取り込む。集中制御アダプタが必要であれば追加すること。



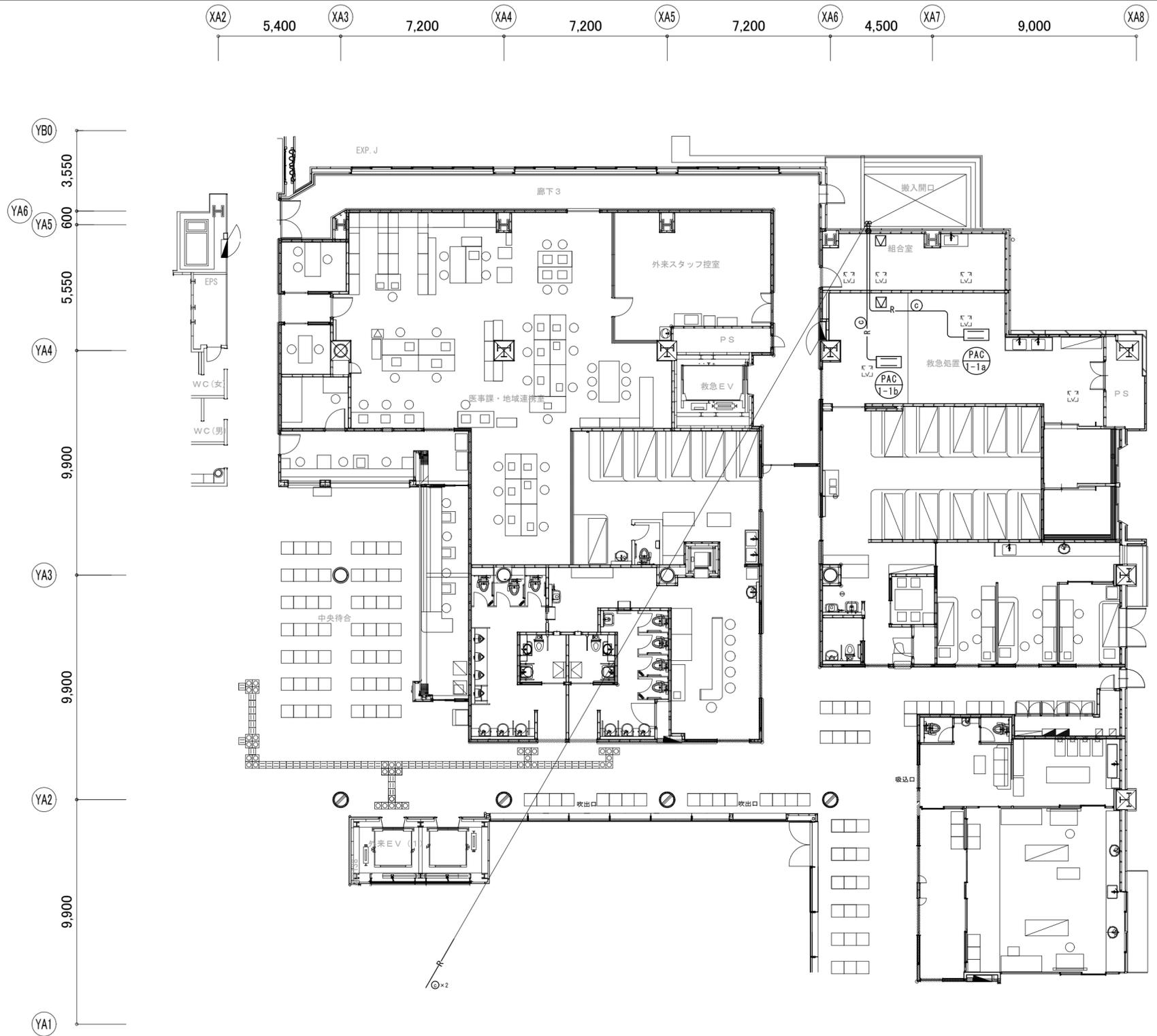


1階 キープラン

冷媒管サイズ					
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	6.35 φ	9.52 φ	g	12.70 φ	25.40 φ
b	6.35 φ	12.70 φ	h	12.70 φ	28.58 φ
c	9.52 φ	15.88 φ	i	15.88 φ	19.05 φ
d	9.52 φ	19.05 φ	j	15.88 φ	28.60 φ
e	9.52 φ	22.20 φ	k	19.05 φ	31.80 φ
f	9.52 φ	25.40 φ			

凡例		
記号	名称	管種
—R—	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (JCDA0009)

- 注記
- 図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
 - エアコンの既設制御配線(冷媒共巻)は、再利用とし、取外し・再取付・再結線は本件工事で行うものとする。
 - 室内機の更新に伴い、機器接続部から500mm程度は天井内冷媒・ドレン配管VP25A (GW20t) の改修を行うものとする。
 - 図中、特記無き屋内配管は、天井内配管を示す。
 - 個別化改修する系統の渡配線(室内機～室外機、及び同時ツイン室内機(主)～室内機(副))は冷媒管共巻きにて新設する。線種：EM-CEES-1.25mm2-3C
 - 個別化改修により、増減する集中制御グループは、適切に登録・設定する。



1階平面図 S=1/150



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical & Electrical Engineers

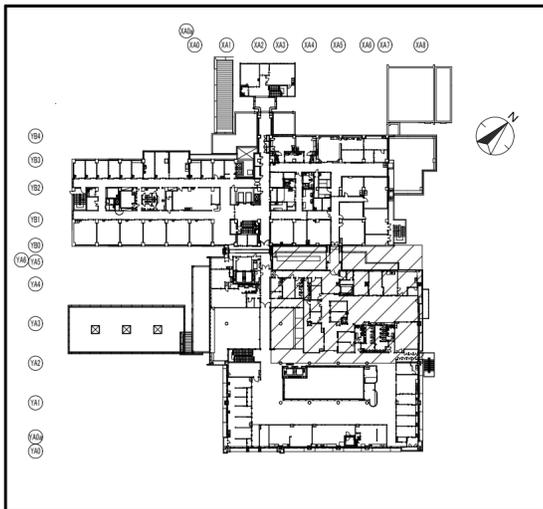
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	米原	米原

縮尺 S=1/150 (A2)
 設計年月日 2025. 09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
 図面名称 冷暖房設備 外来・中央診療棟 1階平面図(改修後)

図面番号 M-07 / 16



2階 キープラン

冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	6.35 φ	9.52 φ	e	12.70 φ	25.40 φ
b	6.35 φ	12.70 φ	h	12.70 φ	28.58 φ
c	9.52 φ	15.88 φ	i	15.88 φ	19.05 φ
d	9.52 φ	19.05 φ	j	15.88 φ	28.60 φ
e	9.52 φ	22.20 φ	k	19.05 φ	31.80 φ
f	9.52 φ	25.40 φ			

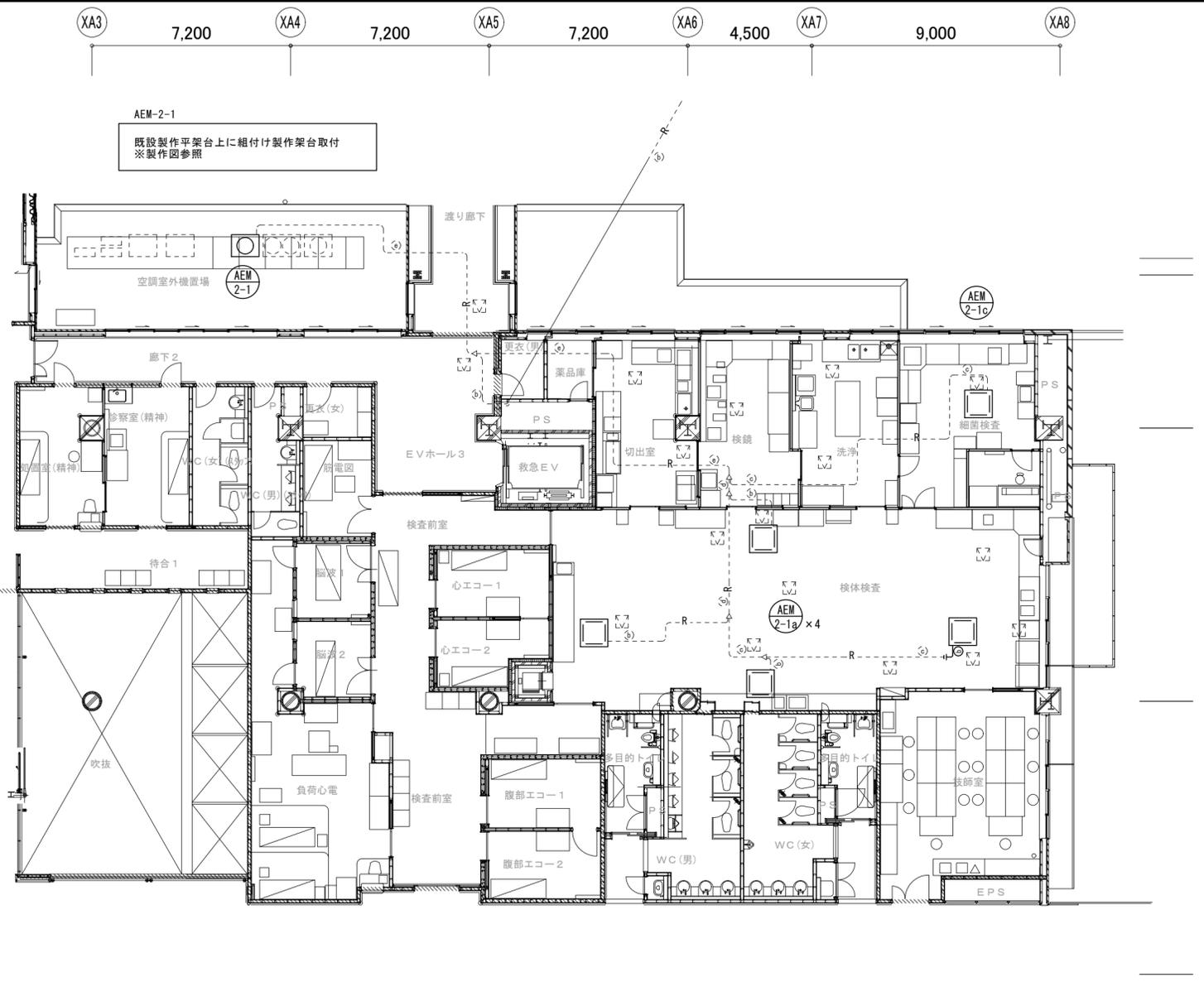
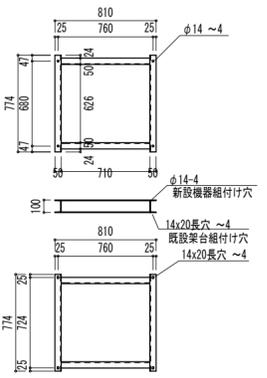
凡例

記号	名称	管種
—R—	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (JCDA0009)

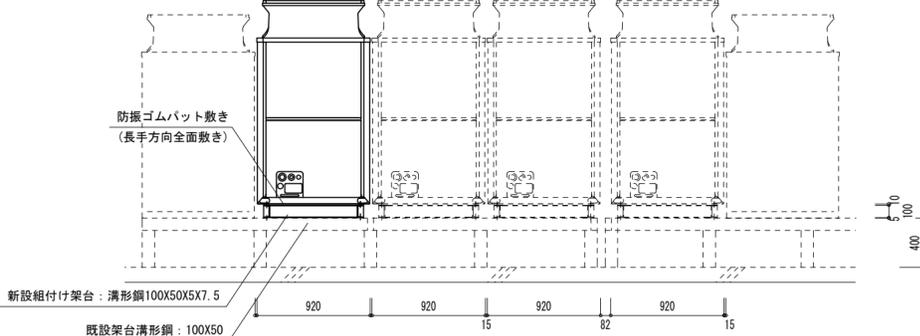
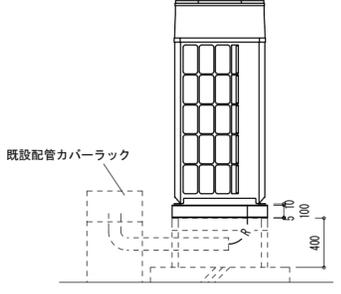
- 注記
1. 図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
 2. エアコンの既設制御配線(冷媒共巻)は、再利用とし、取外し・再取付・再結線は本件工事で行うものとする。
 3. 室内機の更新に伴い、機器接続部から500mm程度は天井内冷媒・ドレン配管VP25A (GW20t) の改修を行うものとする。
 4. 図中、特記無き室内配管は、天井内配管を示す。

組付け架台製作図 NON SCALE

溝形鋼100X50X5X7.5
溶融亜鉛メッキ仕上げ



2階平面図 S=1/150



2階空調室外機置場 NON SCALE

一級建築士事務所/建築設備設計事務所
Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

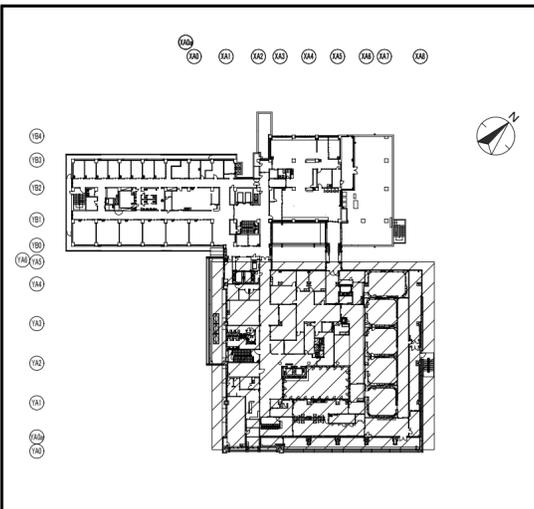
承認 田村
管理技術者 角田
担当 米原
作図 米原

縮尺 S=1/150 (A2)
設計年月日 2025. 09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
図面名称 冷暖房設備 外来・中央診療棟 2階平面図(改修後)

鳥取県
令和7年度
J2402277
鳥取県立厚生病院

図面番号 M-08 / 16



3階 キープラン

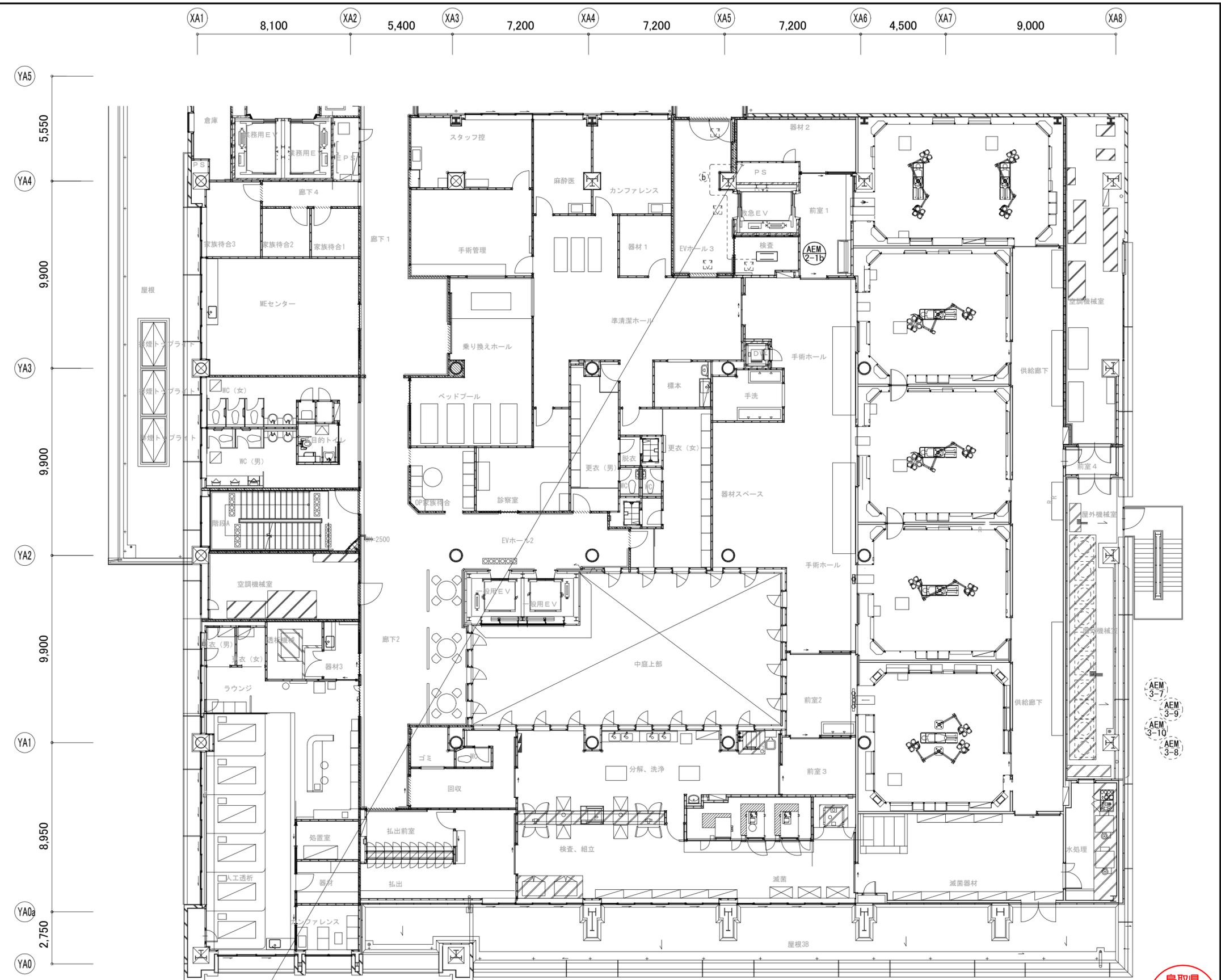
冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	6.35 φ	9.52 φ	g	12.70 φ	25.40 φ
b	6.35 φ	12.70 φ	h	12.70 φ	28.58 φ
c	9.52 φ	15.88 φ	i	15.88 φ	19.05 φ
d	9.52 φ	19.05 φ	j	15.88 φ	28.60 φ
e	9.52 φ	22.20 φ	k	19.05 φ	31.80 φ
f	9.52 φ	25.40 φ			

凡例

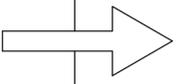
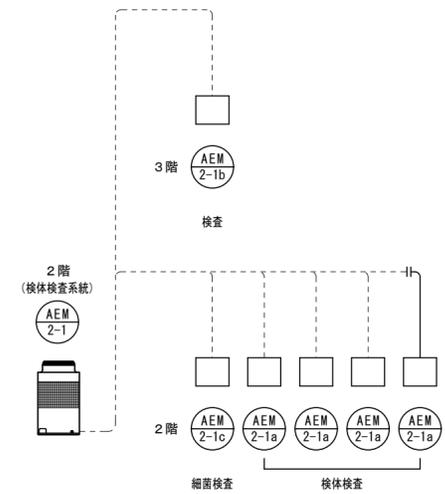
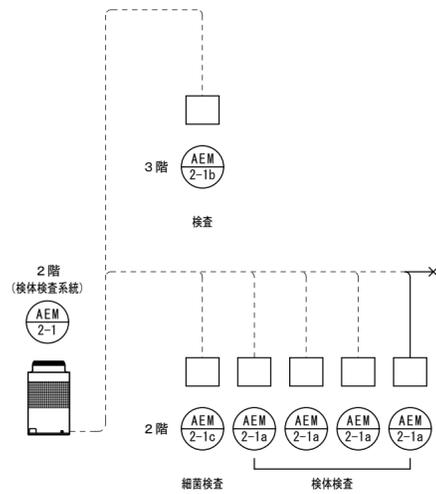
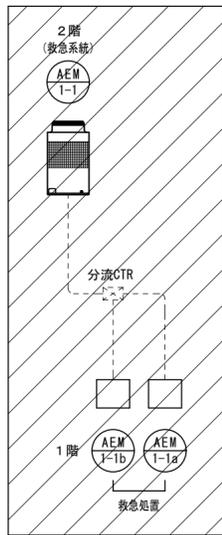
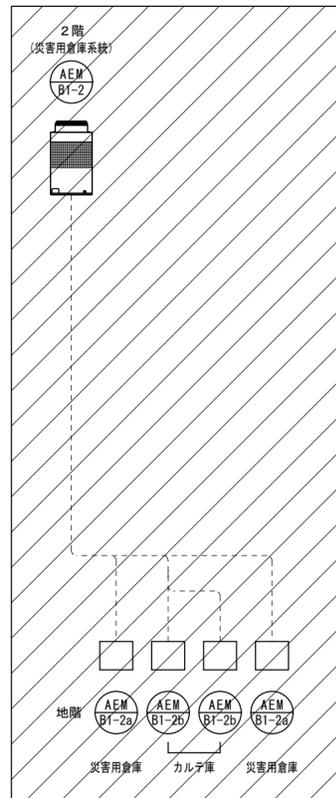
記号	名称	管種
—R—	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (JCDA0009)

- 注記
1. 図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
 2. エアコンの既設制御配線(冷媒共巻)は、再利用とし、取外し・再取付・再結線は本件工事で行うものとする。
 3. 室内機の更新に伴い、機器接続部から500mm程度は天井内冷媒・ドレン配管VP25A (GW20t)の改修を行うものとする。
 4. 図中、特記無き屋内配管は、天井内配管を示す。



3階平面図 S=1/150





特記

1. - - - は、既設配管・機器を示す。
2. ——— は、撤去もしくは更新する配管・機器を示す。
3. 配管は再利用とし、室外機及び室内機を更新する。ただし、 のエアコンは『個別化改修』対象とする。

特記

1. - - - は、既設配管・機器を示す。
2. ——— は、新設もしくは更新する配管・機器を示す。
3. その他、本図示にない機器は個別化改修とする。



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers

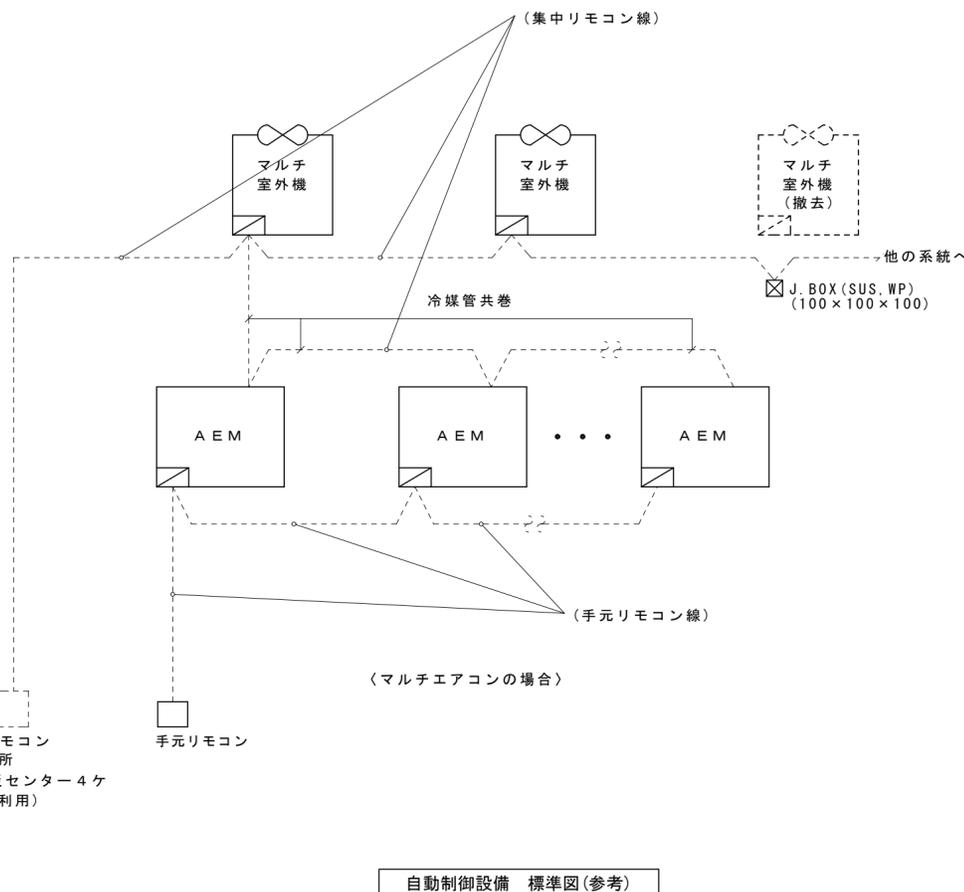
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図

縮尺	S=NS
設計年月日	2025.09

工事名称	厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
図面名称	冷暖房設備 冷媒管系統図(改修前・改修後)

図面番号	M-10 / 16
------	-----------



- <注記>
- 手元リモコン配線: EM-CEE1.25mm2-2C
集中リモコン線: EM-CEES1.25mm2-2C
 - 図中の細破線は既設再利用対象機器及び配管・同付属品を示す。
 - 更新及び個別化改修に伴い室外機及び室内機への各制御配線は取外し再結線すること。
 - 既設マルチ系統の室内機を全て個別化改修する系統は、室内機側の集中リモコン線を再利用すること。
室外機撤去後は、新設ジョイントボックスにて結線すること。

外来・中央診療棟 冷媒系統一覧表(改修前)

室内機記号	階	部屋名	台数	室外機記号	系統名
AEM-B1-1aB1		洗濯室	1	AEM-B1-1	洗濯・霊安室系統
AEM-B1-1bB1		控室	1		
AEM-B1-1cB1		霊安室	1		
AEM-B1-1dB1		家族控	1		
AEM-B1-1eB1		前室1	1		
撤去 AEM-B1-2aB1		防災用倉庫	2	AEM-B1-2	災害用倉庫系統 集中リモコン 1F防災センター
撤去 AEM-B1-2bB1		カルテ庫	2		
撤去 AEM-1-1a	1	救急処置室	1	AEM-1-1	救急系統 集中リモコン 1F防災センター
撤去 AEM-1-1b	1	救急処置室	1		
AEM-1-2a	1	洗浄・搬入前室	1	AEM-1-2	救急系統 集中リモコン 1F防災センター
AEM-1-2b	1	救急処置	2		
AEM-1-2c	1	処置・診察	3		
AEM-1-2d	1	スタッフ控・受付	1		
AEM-1-2e	1	待合	2		
AEM-1-2f	1	感染診察	1		
AEM-1-2g	1	待合	1		
AEM-1-2h	1	検査(内視鏡)	2		
AEM-1-2i	1	洗浄・前処理(内視鏡)	2		
AEM-1-3a	1	点滴	4		
AEM-1-3b	1	点滴(個室)	2	AEM-1-3	中央処置系統 集中リモコン 1F防災センター
AEM-1-3c	1	採血	2		
AEM-1-3d	1	採尿検査	1		
撤去 AEM-2-1a	2	検体検査室	4	AEM-2-1	検体検査系統 集中リモコン 1F防災センター
撤去 AEM-2-1b	2	検査室	1		
撤去 AEM-2-1c	2	細菌検査	1		

室内機記号	階	部屋名	台数	室外機記号	系統名	
AEM-3-1a	3	OP1	4	AEM-3-1a	OP系統	
AEM-3-1b	3	OP1	4	AEM-3-1b		
AEM-3-2	3	OP2	4	AEM-3-2		
AEM-3-3	3	OP3	4	AEM-3-3		
AEM-3-5	3	OP5	4	AEM-3-5		
AEM-3-6	3	OP6	4	AEM-3-6	集中リモコン 3F手術管理	
AEM-3-7a	3	機材2	1	AEM-3-7		手術ホール系統 集中リモコン 3F手術管理
AEM-3-7b	3	手術ホール	2			
AEM-3-7c	3	機材スペース	1			
AEM-3-7d	3	機材スペース	2			
AEM-3-7e	3	手術管理室	1			
AEM-3-8a	3	中央材料室	3	AEM-3-8	中央材料室系統 集中リモコン 1F防災センター	
AEM-3-8b	3	滅菌器材室	2			
AEM-3-8c	3	払出室	1	AEM-3-9	OP準備系統 集中リモコン 3F手術管理	
AEM-3-9a	3	準清潔ホール, EVホール2	3			
AEM-3-9b	3	更衣室・診察室	3			
AEM-3-9c	3	乗換ホール	1			
AEM-3-9d	3	手術家族控室	1			
AEM-3-10a	3	カンファレンス	1	AEM-3-10	スタッフ控 家族待合系統 集中リモコン 3F手術管理	
AEM-3-10b	3	スタッフ控室	2			
AEM-3-10c	3	麻酔医室	1			
AEM-3-10d	3	家族待合1・2	2			
AEM-3-10e	3	家族待合3	1			
AEM-4-1a	4	当直室1~10	10	AEM-4-1	医局・当直室系統 集中リモコン 1F防災センター	
AEM-4-1b	4	カンファレンス	2			
AEM-4-1c	4	医局	6			

外来・中央診療棟 冷媒系統一覧表(改修後)

室内機記号	階	部屋名	台数	室外機記号	系統名
AEM-B1-1aB1		洗濯室	1	AEM-B1-1	洗濯・霊安室系統
AEM-B1-1bB1		控室	1		
AEM-B1-1cB1		霊安室	1		
AEM-B1-1dB1		家族控	1		
AEM-B1-1eB1		前室1	1		
個別化改修 PAC-B1-2aB1		防災用倉庫	2	PAC	災害用倉庫系統 集中リモコン 1F防災センター
個別化改修 PAC-B1-2bB1		カルテ庫	1		
個別化改修 PAC-1-1a	1	救急処置室	1	PAC	救急系統 集中リモコン 1F防災センター
個別化改修 PAC-1-1b	1	救急処置室	1		
AEM-1-2a	1	洗浄・搬入前室	1	AEM-1-2	救急系統 集中リモコン 1F防災センター
AEM-1-2b	1	救急処置	2		
AEM-1-2c	1	処置・診察	3		
AEM-1-2d	1	スタッフ控・受付	1		
AEM-1-2e	1	待合	2		
AEM-1-2f	1	感染診察	1		
AEM-1-2g	1	待合	1		
AEM-1-2h	1	検査(内視鏡)	2		
AEM-1-2i	1	洗浄・前処理(内視鏡)	2		
AEM-1-3a	1	点滴	4		
AEM-1-3b	1	点滴(個室)	2	AEM-1-3	中央処置系統 集中リモコン 1F防災センター
AEM-1-3c	1	採血	2		
AEM-1-3d	1	採尿検査	1		
更新 AEM-2-1a	2	検体検査室	4	AEM-2-1	検体検査系統 集中リモコン 1F防災センター
更新 AEM-2-1b	2	検査室	1		
更新 AEM-2-1c	2	細菌検査	1		

室内機記号	階	部屋名	台数	室外機記号	系統名	
AEM-3-1a	3	OP1	4	AEM-3-1a	OP系統	
AEM-3-1b	3	OP1	4	AEM-3-1b		
AEM-3-2	3	OP2	4	AEM-3-2		
AEM-3-3	3	OP3	4	AEM-3-3		
AEM-3-5	3	OP5	4	AEM-3-5		
AEM-3-6	3	OP6	4	AEM-3-6	集中リモコン 3F手術管理	
AEM-3-7a	3	機材2	1	AEM-3-7		手術ホール系統 集中リモコン 3F手術管理
AEM-3-7b	3	手術ホール	2			
AEM-3-7c	3	機材スペース	1			
AEM-3-7d	3	機材スペース	2			
AEM-3-7e	3	手術管理室	1			
AEM-3-8a	3	中央材料室	3	AEM-3-8	中央材料室系統 集中リモコン 1F防災センター	
AEM-3-8b	3	滅菌器材室	2			
AEM-3-8c	3	払出室	1	AEM-3-9	OP準備系統 集中リモコン 3F手術管理	
AEM-3-9a	3	準清潔ホール, EVホール2	3			
AEM-3-9b	3	更衣室・診察室	3			
AEM-3-9c	3	乗換ホール	1			
AEM-3-9d	3	手術家族控室	1			
AEM-3-10a	3	カンファレンス	1	AEM-3-10	スタッフ控 家族待合系統 集中リモコン 3F手術管理	
AEM-3-10b	3	スタッフ控室	2			
AEM-3-10c	3	麻酔医室	1			
AEM-3-10d	3	家族待合1・2	2			
AEM-3-10e	3	家族待合3	1			
AEM-4-1a	4	当直室1~10	10	AEM-4-1	医局・当直室系統 集中リモコン 1F防災センター	
AEM-4-1b	4	カンファレンス	2			
AEM-4-1c	4	医局	6			



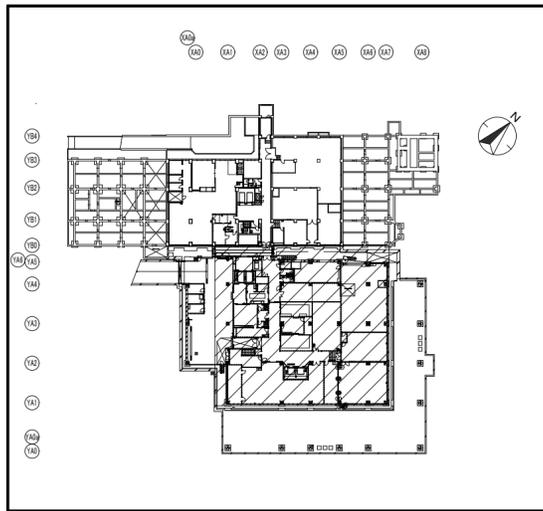
冷暖房機器表 (改修前) 外来・中央診療棟

記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考・設置場所
AEM B1-2	マルチパッケージエアコン (室外機) (撤去)	耐塩害仕様 冷暖切替型P160 冷房能力:16.0kW 暖房能力:18.0kW	3φ×200V	1	2階室外機置場 集中管理
		防雪フード(吹出・吸込共)、鋼製製作平架台	COMP:4.0kW		
		冷媒種別 (R410A)	FAN :0.35kW		
		室外機:PUHY-P160CM-E-BS (三菱電機) 1,650×920×760 (H×W×D) 180kg			
AEM B1-2a	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	4方向カセット吹出形 P56型 冷房能力:5.6kW 暖房能力:6.3kW	1φ×200V	2	地階災害用倉庫
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.050kW		
		室内機:PLFY-P56BM-E1 (三菱電機) 258×840×840 (H×W×D) 22kg			
AEM B1-2b	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	天吊形 P45型 冷房能力:4.5kW 暖房能力:5.0kW	1φ×200V	2	地階カルテ庫
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.054kW		
		室内機:PCFY-P45GM-E1 (三菱電機) 210×1,000×680 (H×W×D) 27kg			
AEM 1-1	マルチパッケージエアコン (室外機) (撤去)	耐塩害仕様 冷暖同時型P224型 冷房能力:22.4kW 暖房能力:25.0kW	3φ×200V	1	2階室外機置場 集中管理
		分流コントローラ、防雪フード(吹出・吸込共)、鋼製製作平架台	COMP:4.7kW		
		冷媒種別 (R410A)	FAN :0.38kW		
		室外機:PUHY-P224M-E-BS (三菱電機) 1,840×990×840 (H×W×D) 236kg			
AEM 1-1a	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	2方向カセット吹出形 P140型 冷房能力:14.0kW 暖房能力:16.0kW	1φ×200V	1	1階救急処置室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.095kW×2		
		室内機:PLFY-P140LMD-E1 (三菱電機) 290×1,708×606 (H×W×D) 56kg			
AEM 1-1b	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	2方向カセット吹出形 P56型 冷房能力:5.6kW 暖房能力:6.3kW	1φ×200V	1	1階救急処置室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.020kW		
		室内機:PLFY-P56LMD-E1 (三菱電機) 290×946×634 (H×W×D) 27kg			
AEM 2-1	マルチパッケージエアコン (室外機) (撤去)	耐塩害仕様 冷暖切替型P335 冷房能力:33.5kW 暖房能力:37.5kW	3φ×200V	1	2階室外機置場 集中管理
		防雪フード(吹出・吸込共)、(再利用)鋼製製作平架台	COMP:8.2kW		
		冷媒種別 (R410A)	FAN :0.35kW		
		室外機:PUHY-P335CM-E-BS (三菱電機) 1,650×920×760 (H×W×D) 205kg			
AEM 2-1a	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	4方向カセット吹出形 P45型 冷房能力:4.5kW 暖房能力:5.0kW	1φ×200V	4	2階検体検査室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.050kW		
		室内機:PLFY-P45BM-E1 (三菱電機) 258×840×840 (H×W×D) 22kg			
AEM 2-1b	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	2方向カセット吹出形 P28型 冷房能力:2.8kW 暖房能力:3.2kW	1φ×200V	1	3階検査室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.015kW		
		室内機:PLFY-P28LMD-E1 (三菱電機) 290×776×634 (H×W×D) 23kg			
AEM 2-1c	マルチパッケージエアコン (室内機) (撤去)	4方向カセット吹出形 P71型 冷房能力:7.1W 暖房能力:8.0kW	1φ×200V	1	2階細菌検査室
		ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN :0.050kW		
		室内機:PLFY-P71BM-E1 (三菱電機) 258×840×840 (H×W×D) 23kg			
	手元リモコン (撤去)	ワイヤードタイプ		8	
	集中リモコン (既設再利用)	50グループ/50台 運転/停止・運転モード切替 PAC-SF44SR-W, PAC-SC50KU (三菱電機)		4	1階 防災センター (外来・中央診療棟)

注記 1. 撤去機器の既設冷媒は適正に回収し破壊処分を行うこと。
(参考)廃棄冷媒の合計量 R410A : 47.0kg



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	S=NS	工事名称	厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)	図面番号	M-12
						設計年月日	2025.09	図面名称	冷暖房設備 機器表(改修前)	16	



地階 キープラン

冷媒管サイズ					
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	6.35 φ	9.52 φ	g	12.70 φ	25.40 φ
b	6.35 φ	12.70 φ	h	12.70 φ	28.58 φ
c	9.52 φ	15.88 φ	i	15.88 φ	19.05 φ
d	9.52 φ	19.05 φ	j	15.88 φ	28.60 φ
e	9.52 φ	22.20 φ	k	19.05 φ	31.80 φ
f	9.52 φ	25.40 φ			

凡例		
記号	名称	管種
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管(銅管: JIS-H3300)

- 注記
- 図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は残置・再利用を示す。
 - 室内機の更新に伴い、機器接続部から500mm程度は天井内冷媒・ドレン配管VP25A (GW20t) の撤去を行うものとする。
 - 図中、特記無き屋内配管は、天井内配管を示す。



地階平面図 S=1/150



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical & Electrical Engineers

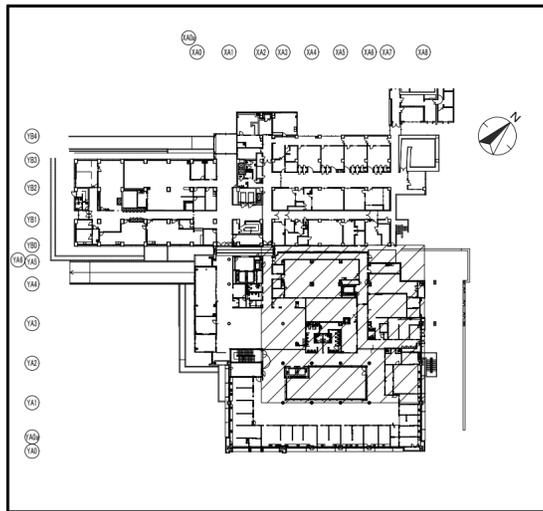
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	米原	米原

縮尺 S=1/150 (A2)
 設計年月日 2025.09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
 図面名称 冷暖房設備 外来・中央診療棟 地階平面図(改修前)

図面番号 M-13 / 16

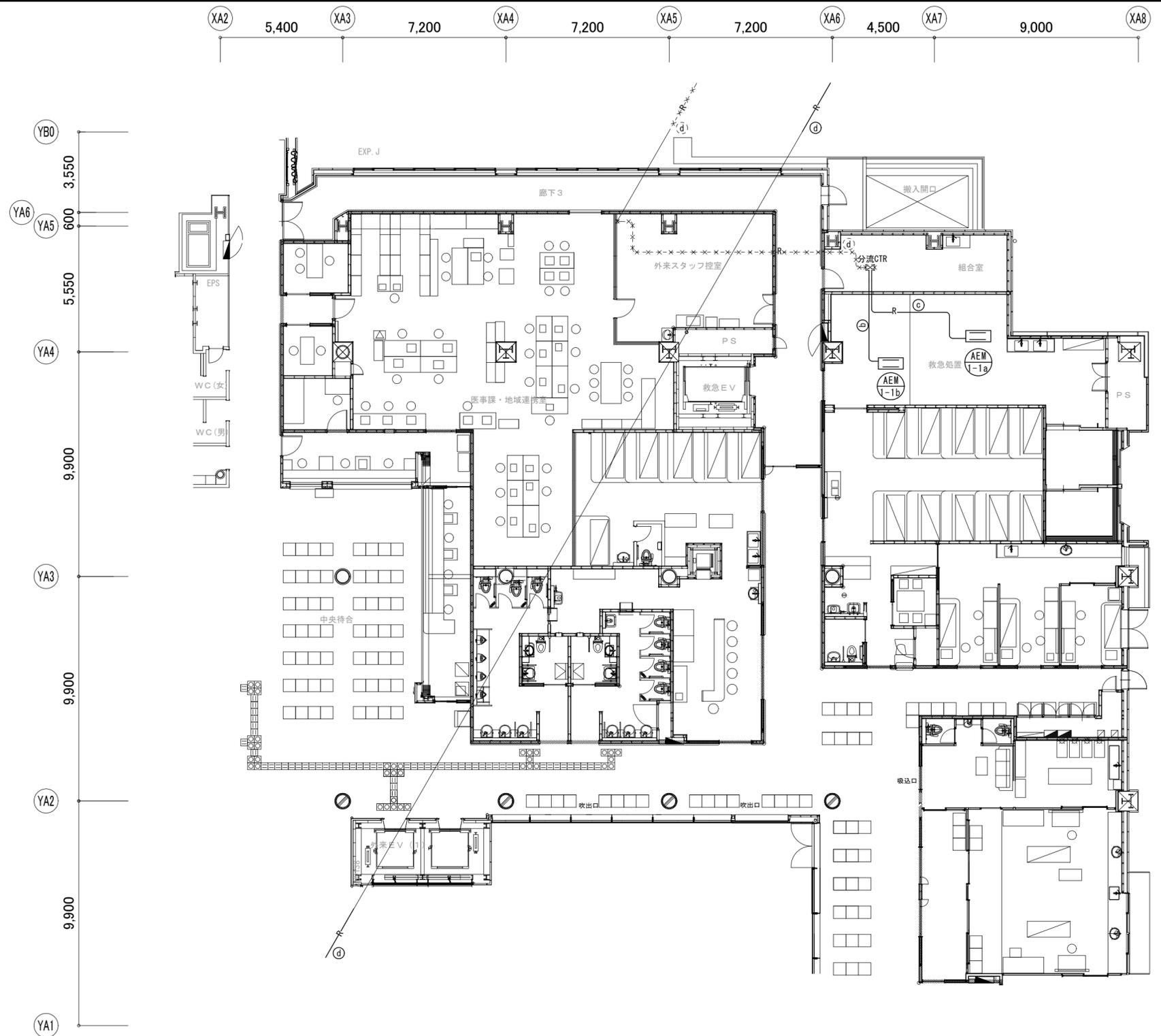


1階 キープラン

冷媒管サイズ					
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	6.35 φ	9.52 φ	g	12.70 φ	25.40 φ
b	6.35 φ	12.70 φ	h	12.70 φ	28.58 φ
c	9.52 φ	15.88 φ	i	15.88 φ	19.05 φ
d	9.52 φ	19.05 φ	j	15.88 φ	28.60 φ
e	9.52 φ	22.20 φ	k	19.05 φ	31.80 φ
f	9.52 φ	25.40 φ			

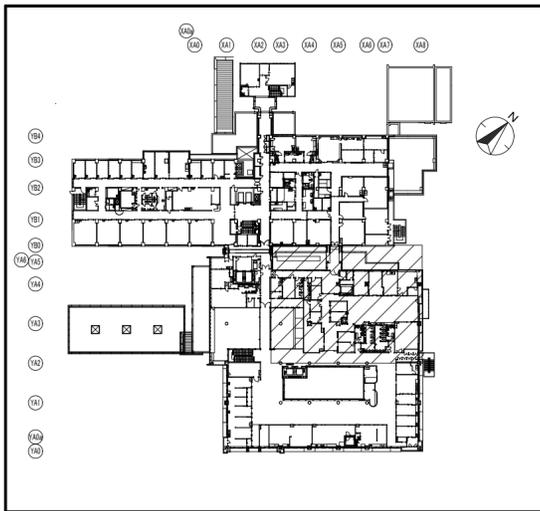
凡例		
記号	名称	管種
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管(銅管: JIS-H3300)

- 注記
- 図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付部品を示し、細破線は残置・再利用を示す。
 - 室内機の更新に伴い、機器接続部から500mm程度は天井内冷媒・ドレン配管VP25A (GW20L) の撤去を行うものとする。
 - 図中、特記無き屋内配管は、天井内配管を示す。



1階平面図 S=1/150





2階 キープラン

冷媒管サイズ

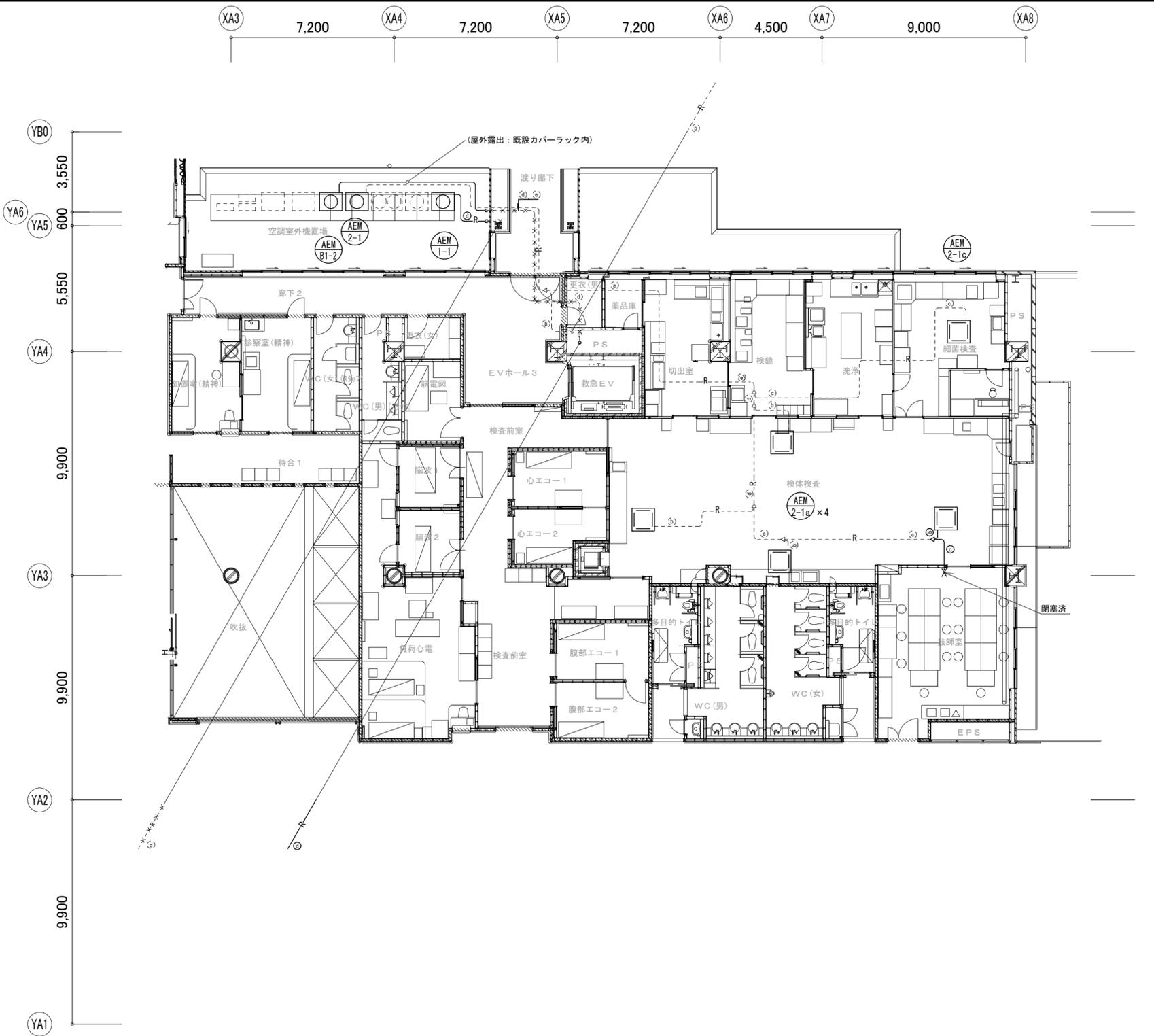
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	6.35 φ	9.52 φ	e	12.70 φ	25.40 φ
b	6.35 φ	12.70 φ	h	12.70 φ	28.58 φ
c	9.52 φ	15.88 φ	i	15.88 φ	19.05 φ
d	9.52 φ	19.05 φ	j	15.88 φ	28.60 φ
e	9.52 φ	22.20 φ	k	19.05 φ	31.80 φ
f	9.52 φ	25.40 φ			

凡例

記号	名称	管種
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管(銅管: JIS-H3300)

注記

- 図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は残置・再利用を示す。
- 室内機の更新に伴い、機器接続部から500mm程度は天井内冷媒・ドレン配管VP25A (GW20t) の撤去を行うものとする。
- 図中、特記無き屋内配管は、天井内配管を示す。



2階平面図 S=1/150



一級建築士事務所/建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical&Electrical Engineers

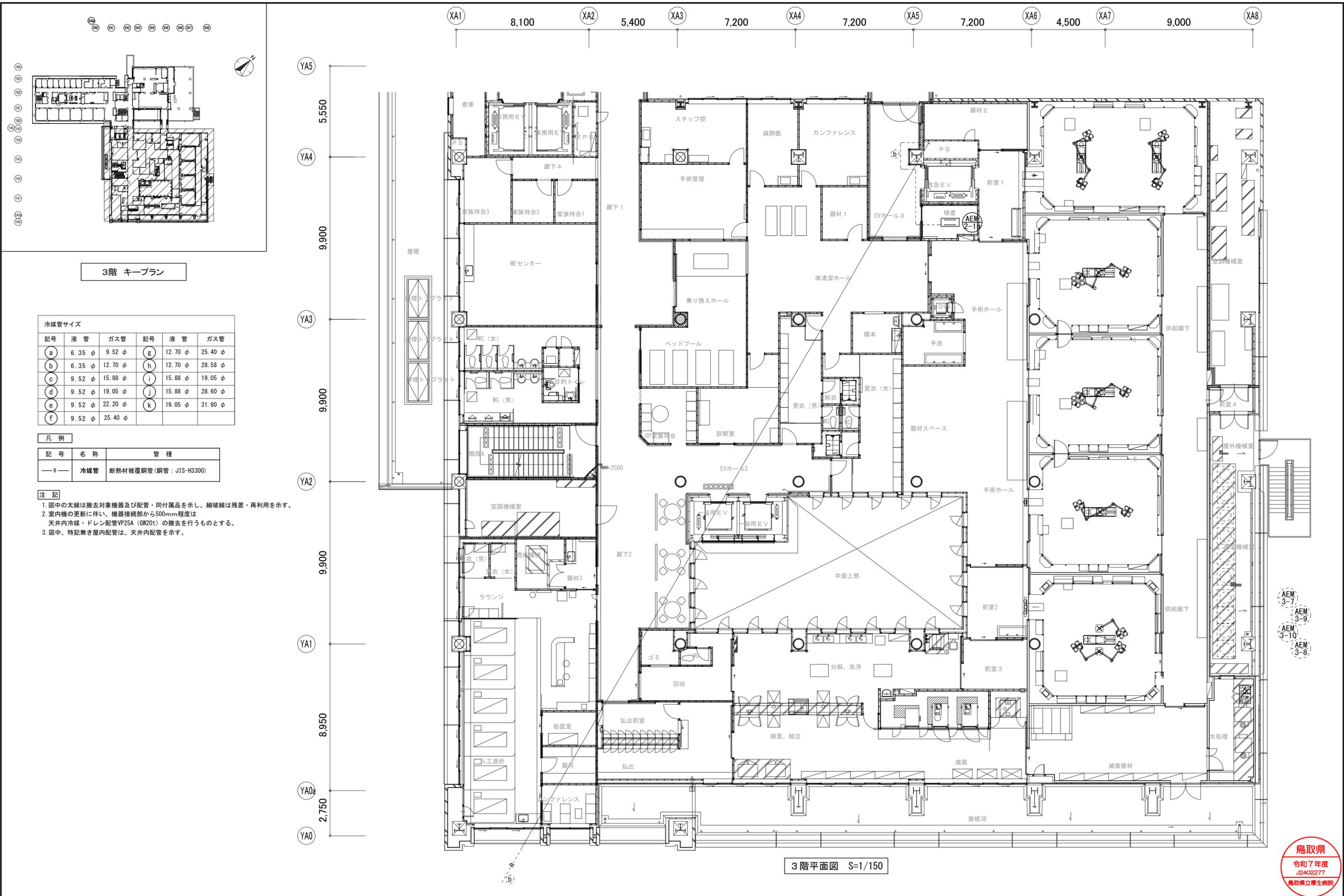
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	米原	米原

縮尺 S=1/150 (A2)
 設計年月日 2025. 09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
 図面名称 冷暖房設備 外来・中央診療棟 2階平面図(改修前)

図面番号 M-15 / 16



3階平面図 S=1/150



注記 : 図中太線内を改修対象とする

既設外来・中央診療棟電気室 TR-3 (一般回路) 配電盤 結線図

変圧器盤		配電盤			幹線		負荷						
TR No.	1φ3W 210V 105V (kVA)	3φ3W 210V (kVA)	幹線記号	3P MCCB AF/AT	備考	結線	ケーブル サイズ	配管	負荷名称	容量 (kW)	備考		
TR-3		500		1B1	225/200		CET100 □	E75	M-SB1-2 (a)	46.8	kVA		
				1B2	400/300		CET150 □	G82	M-SB1-2 (b)	54.5	kW		
				1B3	400/250 MF-200-DM		CET150 □	G82	M-SB1-2 (c)	48.7	kW		
				1B4	400/350		CET100 x2 □	G104	M-SB1-2 (d)	65.5	kW		
				1B5	400/400		CET100 x2 □	G104	M-SB1-2 (e)	74.0	kW		
				1B6	225/225		CET100 □	E75	M-SB1-2 (f)	37.0	kW		
				1B7	100/100		CET38 □	E51	M-SB1-2 (g)	18.9	kW		
				1B8	225/150		CET60 □	E63	M-SB1-4	17.8	kW		
							CET38 □	E51	M-S3-1	7.2	kW		
				1B9	100/75		CET38 □	E51	M-SB1-5	12.68	kVA		
				1B10	400/400		CET100 x2 □	G104	M-S3-2	88.0	kW		
				1B11	225/225		CET100 □	E75	M-S3-5	25.6	kW		
				予備	50/50								
				1B13	225/125		CET60 □	E63	M-S1-2	17.27	kVA(売店)		
1B14	225/225		CET100 □	E75	M-S3-5	54.0	kW						
予備	225/												



既設外来・中央診療棟電気室 TR-3 (一般回路) 配電盤 結線図 (1B3系統7'レ-400AF250ATを400AF300ATに更新)

変圧器盤		配電盤			幹線		負荷						
TR No.	1φ3W 210V 105V (kVA)	3φ3W 210V (kVA)	幹線記号	3P MCCB AF/AT	備考	結線	ケーブル サイズ	配管	負荷名称	容量 (kW)	備考		
TR-3		500		1B1	225/200		CET100 □	E75	M-SB1-2 (a)	46.8	kVA		
				1B2	400/300		CET150 □	G82	M-SB1-2 (b)	54.5	kW		
				1B3	400/300		CET150 □	G82	M-SB1-2 (c)	53.96	kW		
				1B4	400/350		CET100 x2 □	G104	M-SB1-2 (d)	65.5	kW		
				1B5	400/400		CET100 x2 □	G104	M-SB1-2 (e)	74.0	kW		
				1B6	225/225		CET100 □	E75	M-SB1-2 (f)	37.0	kW		
				1B7	100/100		CET38 □	E51	M-SB1-2 (g)	18.9	kW		
				1B8	225/150		CET60 □	E63	M-SB1-4	17.8	kW		
							CET38 □	E51	M-S3-1	7.2	kW		
				1B9	100/75		CET38 □	E51	M-SB1-5	12.68	kVA		
				1B10	400/400		CET100 x2 □	G104	M-S3-2	88.0	kW		
				1B11	225/225		CET100 □	E75	M-S3-5	25.6	kW		
				予備	50/50								
				1B13	225/125		CET60 □	E63	M-S1-2	17.27	kVA(売店)		
1B14	225/225		CET100 □	E75	M-S3-5	54.0	kW						
予備	225/												

注記 : 図中太線内を改修対象とする

既設外来・中央診療棟電気室 TR-7 (発電機回路) 配電盤 結線図

変圧器盤		配電盤			幹線		負荷				
TR No.	1φ3W 210V 105V (kVA)	3φ3W 210V (kVA)	幹線記号	3P MCCB AF/AT	備考	結線	ケーブル サイズ	配管	負荷名称	容量 (kW)	備考
TR-7		500		1B61	225/125		FPT38sq	E63	M-SB1-1	22.2	防災
				1B62	100/75		CET22sq	E39	M-SB1-2	11.32	
				1B63	100/75		CET22sq	E39	M-SB1-4	13.2	
				1B64	225/225		CET150sq	列盤内	U P S	50.0	kVA
				1B65	100/75		CET22sq	E31	EV-3	6.2	kVA
							CET22sq	E31	EV-5	6.2	kVA
				1B66	50/50		CET14sq	E31	発電機	5.75	kVA
				1B67	225/225		CET150sq	G82	M-S3-3	57.13	kVA
				1B68	100/100		CET60sq	E63	M-S2-2	18.22	kVA 屋外 (G42)
				1B69	100/100		CET38sq	E51	M-S3-1	8.18	
							CET22sq	E39	M-S3-2	3.0	kVA
							CE8sq-3C	E31	M-S4-1	0.77	
				1B610	225/175		CET150sq	G82	M-S2-2	48.84	kVA
				1B611	225/150		CET150sq	E75	M-S7-2	44.38	kVA 屋外 (G70)
				1B612	100/75		CET22sq	E39	M-S3-4	6.99	
				1B613	100/100		CET38sq	E51			
							CET22sq	E39	M-S6-1	4.48	
							CET22sq	E39	M-S7-1	10.8	
				1B614	400/250		CET150sq	G82	M-S3-3	62.76	kVA
1B615	225/125		CET60sq	E75	M-SB1-5	20.08	kVA				
1B616	50/30		CE8sq-3C	E31	直流壁	4.2	kVA				
1B617	225/125		CET38sq	E51	M-NB1-1	11.0	既設棟地下1階				
1B618	225/125		FPT60sq	E75	M-NB1-1	15.0	既設棟地下1階				
1B619	250/225				M-S3-2・EV-4・LM-S3-1						
	125/50				M-S3-2						
	125/50				EV-4						
	250/125				LM-S3-1						



既設外来・中央診療棟電気室 TR-7 (発電機回路) 配電盤 結線図

変圧器盤		配電盤			幹線		負荷				
TR No.	1φ3W 210V 105V (kVA)	3φ3W 210V (kVA)	幹線記号	3P MCCB AF/AT	備考	結線	ケーブル サイズ	配管	負荷名称	容量 (kW)	備考
TR-7		500		1B61	225/125		FPT38sq	E63	M-SB1-1	22.2	防災
				1B62	100/75		CET22sq	E39	M-SB1-2	11.32	
				1B63	100/75		CET22sq	E39	M-SB1-4	13.2	
				1B64	225/225		CET150sq	列盤内	U P S	50.0	kVA
				1B65	100/75		CET22sq	E31	EV-3	6.2	kVA
							CET22sq	E31	EV-5	6.2	kVA
				1B66	50/50		CET14sq	E31	発電機	5.75	kVA
				1B67	225/225		CET150sq	G82	M-S3-3	57.13	kVA
							新設CET60sq		M-SB1-7 (新設)	3.42	kW (新設閉器盤用電源をブレー2次側に接続)
				1B68	100/100		CET60sq	E63	M-S2-2	18.22	kVA 屋外 (G42)
				1B69	100/100		CET38sq	E51	M-S3-1	8.18	
							CET22sq	E39	M-S3-2	3.0	kVA
							CE8sq-3C	E31	M-S4-1	0.77	
				1B610	225/175		CET150sq	G82	M-S2-2	48.84	kVA
				1B611	225/150		CET150sq	E75	M-S7-2	44.38	kVA 屋外 (G70)
				1B612	100/75		CET22sq	E39	M-S3-4	6.99	
				1B613	100/100		CET38sq	E51			
							CET22sq	E39	M-S6-1	4.48	
							CET22sq	E39	M-S7-1	10.8	
1B614	400/250		CET150sq	G82	M-S3-3	62.76	kVA				
1B615	225/125		CET60sq	E75	M-SB1-5	20.08	kVA				
1B616	50/30		CE8sq-3C	E31	直流壁	4.2	kVA				
1B617	225/125		CET38sq	E51	M-NB1-1	11.0	既設棟地下1階				
1B618	225/125		FPT60sq	E75	M-NB1-1	15.0	既設棟地下1階				
1B619	250/225				M-S3-2・EV-4・LM-S3-1						
	125/50				M-S3-2						
	125/50				EV-4						
	250/125				LM-S3-1						



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 田村 管理技術者 角田 担当 前田 作図 前田

縮尺 NS (A2)
設計年月日 2025. 09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
図面名称 トランスTR3・TR7配電盤 結線図 (改修前・後)

図面番号 E-02 / 07

既設動力盤

制御盤 (盤形状)	幹線名称	機器番号	名称	容量 (kW)	電圧 (V)	設置階	始動方式	結線記号		開閉器 (AF/AT)	備考	
								主回路	制御			
M-S2-2 (既設) (自立形SUS製) (屋外防水型)	18010	AEM-2-1	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 検体検査系統	21.68 kVA	210	2F屋外	電源送り	ELCB	125/125 NV-125-0W	500mA	CE38sq-3C, E14sq	
		AEM-1-2	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 救急系統	27.16 kVA	"	"	"	"	ELCB	100/100 NV-125-0W	100mA	CE60sq-3C, E22sq
	2806	AEM-1-1	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 放射線撮影系統	13.67 kVA	210	2F屋外	電源送り	ELCB	100/75 NV-125-0W	500mA	CE22sq-3C, E8sq (撤去)	
		AEM-1-3	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 中央処置系統	13.67 kVA	"	"	"	"	ELCB	60/40 NV-65-0V	100mA	CE22sq-3C, E8sq
		ACP-1-5	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 守衛室系統	1.5 kVA	1φ210	"	"	"	ELCB	50/20 NV-50-KC	30mA	CE3.5sq-3C
		ACP-2-2	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 脳波1系統	1.5 kVA	"	"	"	"	ELCB	50/20 NV-50-KC	30mA	CE3.5sq-3C
		ACP-2-3	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 脳波2系統	1.5 kVA	"	"	"	"	ELCB	50/20 NV-50-KC	30mA	CE3.5sq-3C
		AEM-2-2	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 健診ラウンジ系統	7.24 kVA	210	2F屋外	"	"	ELCB	50/30 NV-50-KC	30mA	
		AEM-2-3	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 健診ラウンジ系統	5.39 kVA	210	2F屋外	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
		ACP-2-7	空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 負荷心電室系統		"	"	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
				2F エコー室系統		"	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
				検体検査切出局部排気設備		"	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
	1808	AEM-B1-2	空冷ハ「ナジ」エアコン B1F 災害倉庫系統	6.91 kVA	210	2F屋外	電源送り	ELCB	50/30 NV-50-KC	30mA	CE14sq-3C, E8sq (撤去)	
		ACP-1-3	空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 防災センター系統	8.14 kVA	"	"	"	"	ELCB	50/30 NV-50-KC	30mA	CE14sq-3C, E8sq

注記 : 図中太線内を改修対象とする
漏電ブレーカはインバータ対応型にて取替を行うこと。



制御盤 (盤形状)	幹線名称	機器番号	名称	容量 (kW)	電圧 (V)	設置階	始動方式	結線記号		開閉器 (AF/AT)	備考	
								主回路	制御			
M-S2-2 (既設) (自立形SUS製) (屋外防水型)	18010	AEM-2-1	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 検体検査系統 (更新)	9.81 kW	210	2F屋外	電源送り	ELCB	100/60	100mA	(ブレーカ取替)	
		AEM-1-2	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 救急系統	27.16 kVA	"	"	"	"	ELCB	100/100 NV-125-0W	100mA	
	2806			予備 (行き先表示を修正)		210			ELCB	100/75 NV-125-0W	500mA	
		AEM-1-3	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 中央処置系統	13.67 kVA	210	2F屋外	電源送り	ELCB	60/40 NV-65-0V	100mA		
		ACP-1-5	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 守衛室系統	1.5 kVA	1φ210	"	"	"	ELCB	50/20 NV-50-KC	30mA	
		ACP-2-2	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 脳波1系統	1.5 kVA	"	"	"	"	ELCB	50/20 NV-50-KC	30mA	
		ACP-2-3	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 脳波2系統	1.5 kVA	"	"	"	"	ELCB	50/20 NV-50-KC	30mA	
		AEM-2-2	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 健診ラウンジ系統	7.24 kVA	210	2F屋外	"	"	ELCB	50/30 NV-50-KC	30mA	
		AEM-2-3	7#型空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 健診ラウンジ系統	5.39 kVA	210	2F屋外	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
		ACP-2-7	空冷ハ「ナジ」エアコン 2F 負荷心電室系統		"	"	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
				2F エコー室系統		"	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
				検体検査切出局部排気設備		"	"	"	ELCB	50/40 NV-50-KC	30mA	
	1808			予備 (行き先表示を修正)		210			ELCB	50/30 NV-50-KC	30mA	
		ACP-1-3	空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 防災センター系統	8.14 kVA	210	2F屋外	電源送り	ELCB	50/30 NV-50-KC	30mA		

既設動力盤

制御盤 (盤形状)	幹線名称	機器番号	名称	容量 (kW)	電圧 (V)	設置階	始動方式	結線記号		開閉器 (AF/AT)	備考
								主回路	制御		
M-SB1-2 (C) (屋内自立形)	18	PH-11	温水一次ポンプ HE-1蒸気温水熱交換系統	3.7	210	B1F	直入	Le	2-1a		
		PC-21	冷水二次ポンプ No.1	15.0	"	"	"	Le	2-1a		
		PC-22	冷水二次ポンプ No.2	15.0	"	"	"	Le	2-1a		
		PC-23	冷水二次ポンプ No.3	15.0	"	"	"	Le	2-1a		
			操作電源		1φ210			W03 2F			

注記 : 図中太線内を改修対象とする
1次側配線及びブレーカ増設を行うこと。



既設動力盤 (M-SB1-6盤用分岐ブレーカを増設)

制御盤 (盤形状)	幹線名称	機器番号	名称	容量 (kW)	電圧 (V)	設置階	始動方式	結線記号		開閉器 (AF/AT)	備考
								主回路	制御		
M-SB1-2 (C) (屋内自立形)	18	PH-11	温水一次ポンプ HE-1蒸気温水熱交換系統	3.7	210	B1F	直入	Le	2-1a		
		PC-21	冷水二次ポンプ No.1	15.0	"	"	"	Le	2-1a		
		PC-22	冷水二次ポンプ No.2	15.0	"	"	"	Le	2-1a		
		PC-23	冷水二次ポンプ No.3	15.0	"	"	"	Le	2-1a		
			操作電源		1φ210			W03 2F			
M-SB1-6		新設動力開閉器盤 厨房休憩室・3F床系統	5.26	210	B1F	直入	W03		50/30		CE14sq

新設動力開閉器盤 (M-SB1-2 (C) 盤より電源供給表示)

制御盤 (盤形状)	幹線名称	機器番号	名称	容量 (kW)	電圧 (V)	設置階	始動方式	結線記号		開閉器 (AF/AT)	備考
								主回路	制御		
M-SB1-6 (新設) (壁掛形SUS製) (屋外防水型) (標準塗装) 電源CE14sq	18	PAC-B1-2a-1	空冷ハ「ナジ」エアコン B1F 厨房休憩室系統	1.39 kW	210	B1F屋外	電源送り	ELCB	50/15 30mA	CE2sq-4C (G22-F2#24WP)	
		PAC-B1-2a-2	空冷ハ「ナジ」エアコン B1F 厨房休憩室系統	1.39 kW	"	B1F屋外	"	ELCB	50/15 30mA	CE2sq-4C (G22-F2#24WP)	
		PAC-B1-2b	空冷ハ「ナジ」エアコン B1F カルテシステム	2.48 kW	"	B1F屋外	"	ELCB	50/30 30mA	CE3.5sq-4C (G28-F2#30WP)	

新設動力開閉器盤 (TR7配電盤18Gより電源供給表示)

制御盤 (盤形状)	幹線名称	機器番号	名称	容量 (kW)	電圧 (V)	設置階	始動方式	結線記号		開閉器 (AF/AT)	備考
								主回路	制御		
M-SB1-7 (新設) (壁掛形SUS製) (屋外防水型) (標準塗装) 電源CE160sq	18G	PAC-1-1a	空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 救急処置室系統	1.71 kW	210	B1F屋外	電源送り	ELCB	50/20 30mA	CE3.5sq-4C (G28-F2#30WP)	
		PAC-1-1b	空冷ハ「ナジ」エアコン 1F 救急処置室系統	1.71 kW	"	B1F屋外	"	ELCB	50/20 30mA	CE3.5sq-4C (G28-F2#30WP)	



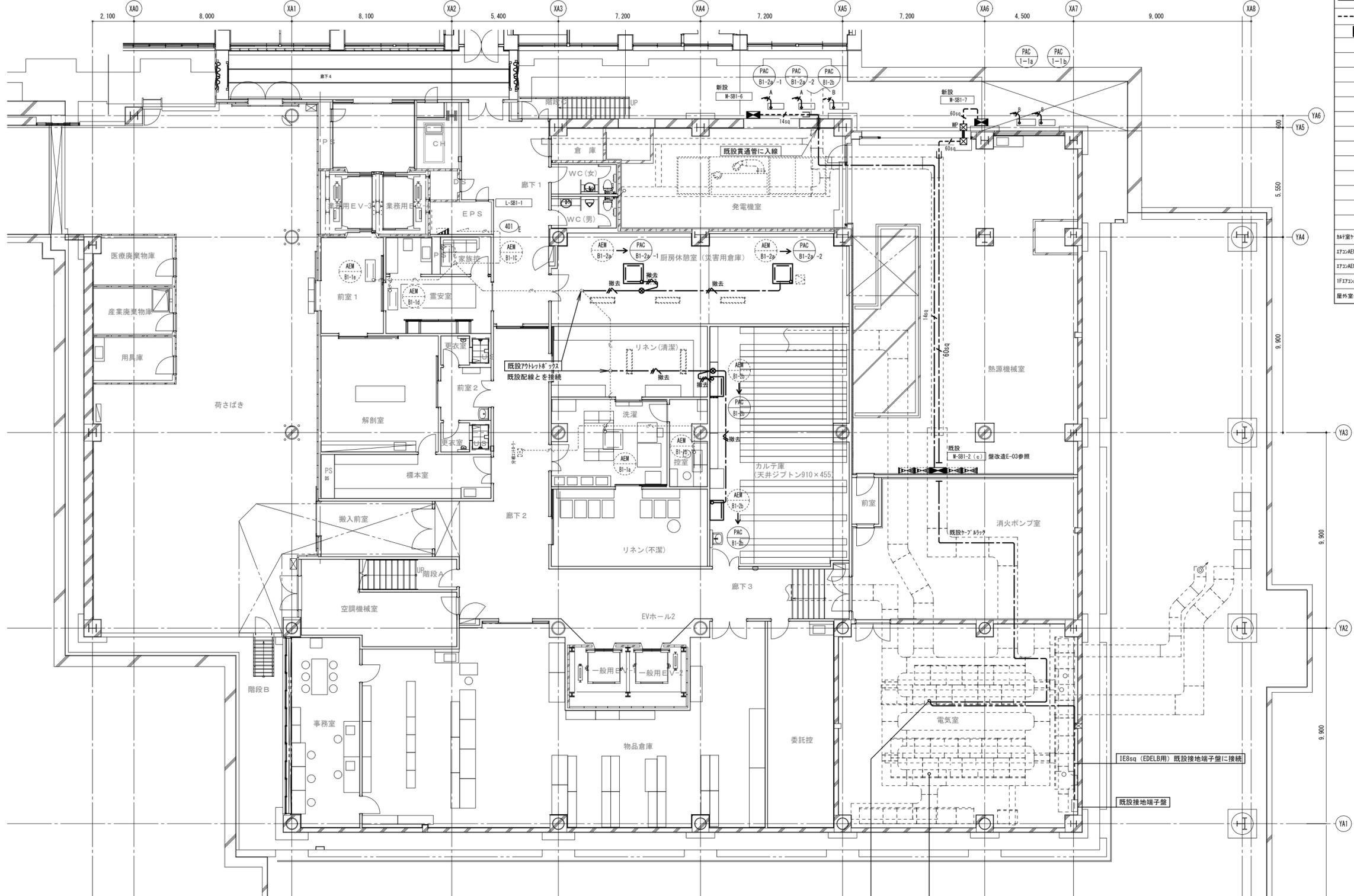
一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	前田	前田

縮尺	NS (A2)
設計年月日	2025. 09

工事名称 厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)
 図面名称 新設動力盤・既設動力盤 (改修前・後) 結線図

図面番号 E-03 / 07

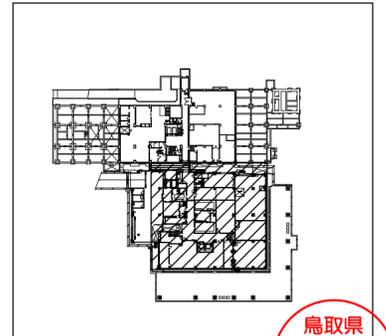


特記なき配管配線・記号及び注記は下記による。

	EM-EF2, 0-3C (107-3)	既設天井内200φの残置
	EM-EF2, 0-3C (107-3)	既設天井内200φの撤去
	EM-GE114sq, E5, 5sq x 2 (ED, EDELB)	既設7φの残置
	EM-GE114sq, E5, 5sq x 2 (G42-F2#50MP)	既設7φの撤去
	EM-GE2sq-4C (G22-F2#24MP)	新設配管配線
	EM-GE3, 5sq-4C (G28-F2#30MP)	新設配管配線
	EM-GE160sq, E22sq (ED, E5, 5sq (EDELB))	既設7φの新設布設
	EM-GE160sq, E22sq (ED, E5, 5sq (EDELB)) (G70-F2#76MP)	新設配管配線
		空調室内機改修に伴い電源外レター7φの撤去
		空調分岐コネクタ (残置)
		空調室外機新設に伴い電源接続
		既設7φのレター7φ
		既設7φのレター7φ
		既設電灯分電盤
		既設埋込照明器具W300φ7
		撤去再取付 (5台)
		発電機回路
		一般回路
		既設点検口
		動力開閉器盤
		7φのレター7φ S3300 x 300 x 300
		7φのレター7φ S3300 x 300 x 300 MP-SUS
		新規7φの真鍮75φ-L350 (鉄探査共)

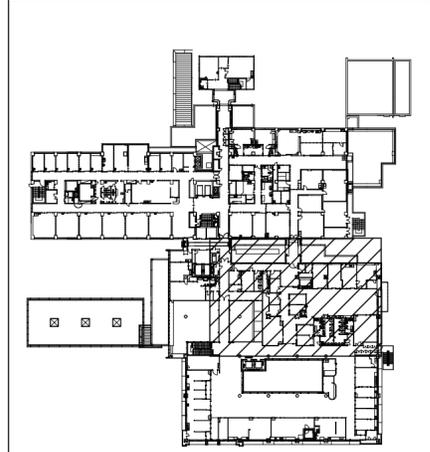
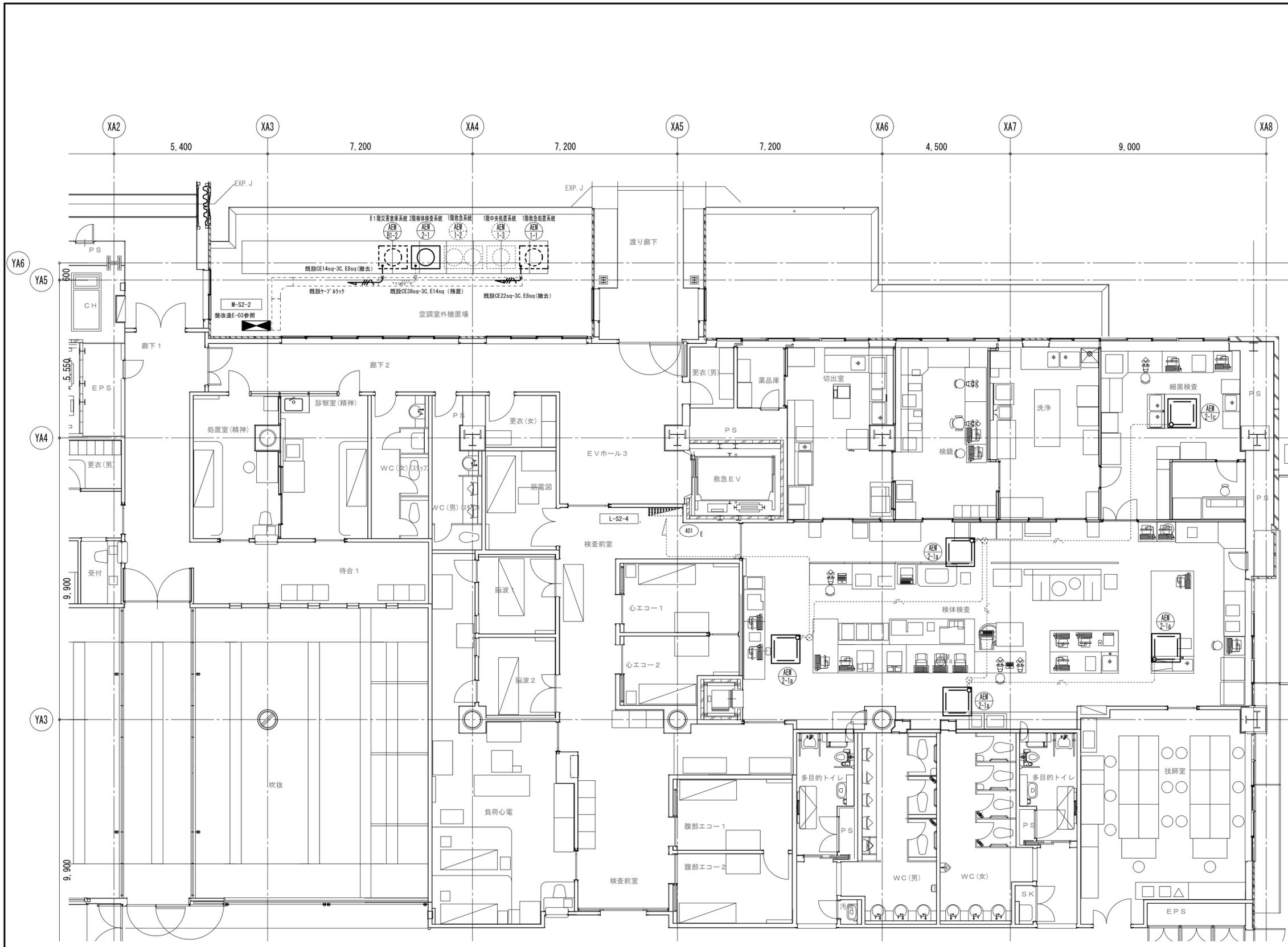
3φの室7φのレター7φの撤去は機械設備天井開口を使用
 7φの室7φのレター7φの2台は7φのレター7φから個別7φのレター7φに新規改修により室外機に電源供給
 7φの室7φのレター7φの2台は7φのレター7φから個別7φのレター7φに新規改修により室外機に電源供給
 1F7φの室7φのレター7φの1台は7φのレター7φから個別7φのレター7φに新規改修により室外機に電源供給
 屋外室外機電源配管は機械設備足場を利用の事

外来・中央診療棟地階平面図 S=1/150



鳥取県
令和7年度
J2402277
鳥取県立厚生病院

特記なき配管配線及び記号は下記による。	
	EM-EEF2.0-30 (107-2) 既設天井内208V残置
	空調室内機改修に伴い電源取外し再取付
	空調室外機改修に伴い電源取外し再取付
	空調室外機既設撤去に伴い電源取外し208V撤去
	既設700mm×700mm 既設天井内残置
	既設電灯分電盤
	一般回路



外来・中央診療棟 2階平面図 S=1/100

2階 キープラン

鳥取県
令和7年度
J2402277
鳥取県立厚生病院

一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical & Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	厚生病院マルチエアコン改修工事 (1工区)	図面番号	E-06 / 07
		田村	角田	前田	前田	設計年月日	2025.09	図面名称	外来・中央診療棟2階 動力設備 平面図		

